



# かえでゆうびん 6 月号

2025 年 6 月 1 日

社会福祉法人 清松学園

幼保連携型認定こども園

かえで保育園

園長 引地 美津代

新緑の季節、園庭の木々も新芽が出、それぞれのクラスの植えた食物がぐんぐん伸びてきています。新年度始まってすぐの運動発表会はいかがでしたか？乳児クラスは保護者の方々の交流も深めてふれあいを中心に計画し、つぼみのしっぽとりは微笑ましかったですね。いぶき・ひかりでは少しずつ協力し合ったり、競い合ったり・・・最終学年のだいち保護者の方々に何を見てほしいか・皆でどう進めていくかを話し合いながら演目が決まったようです。運動発表会から今年はどんな遊びが展開していくか楽しみです。

5 月の初め、地域の管理者会議で各保育園・幼稚園・小学校の管理者が集まり、2025 年度の交流を話し合い、学校教育の進め方など学校長の方針を聞く機会がありました。今まで乳幼児期の営みを小学校に引き継ぎながら、年長になるとこんなこともあんな興味も膨らんできたことが継続できず、学校教育とのギャップを感じながら申し送りを進めていましたが、やっと今年度から幼少期の学びが学校に継続できる「学校教育要綱」に変わってきたことがわかりました。保育園で過ごす乳幼児期にはそのお子さまの一生関係していくであろう「人格の形成」と「物事を考える力」「探求心」・・・が育ちます。保育用語では「10 の姿」と言います。例えば、保育者の傍でニコニコしながら保育者に身を委ね、心地よく過ごしていた乳児期からダンゴムシをひたすら集める 1 歳児。園庭のプランターや葉っぱの下から見つけるのも日々上のクラスから教えてもらい発見していきます。2 歳児～3 歳児になると虫の名前や育つための方法を研究し、4～5 歳児では友達と協力してやり遂げたり、考えたり・・・そして就学前になるとこれから進んでいく社会（学校）に期待をもって自分の持っている力を磨いていく。この毎日繰り返される「遊び」が最も重要で経験無くして学びは広がりません。幼児期に「字を知る」のも生活で必要と感じた時こそ学び時。数字も数の概念が理解できてこそ、数の意味が分かる。幼児期の学習するタイミングを大人の考えで進めてしまうと頭でっかちな形だけの知識となり本来の学びたい気持ちが軽減していきます。鬼ごっこやかくれんぼ一つにしても自己中心的に参加するのではなく最後まで探す・逃げ切るなどの簡単なルールを習得し継続していくことが学校生活での「頑張る力」につながるといわれています。子どもたちのきらきらして取り組む姿に「そうそう。今が大事！！」と感じながら遊びこめる環境づくりと学びに向かう力を育てていきます。

園長 引地 美津代

園庭で気持ちよさそうに泳いでいたこいのぼりも、突然の暑さに驚いたことでしょう。実際に遠くに出かけられない時には、溪谷の水の流れや風鈴に縁側、写真や動画を見ながら“涼”を取り入れています。

涼しい森の木陰で川のせせらぎを聴いているような気分になれるので、おすすめです。

さて、5 月は子どもたちも楽しみにしていた運動はっぴょう会を行いました。

“発表会”というと、すごいことを披露するビッグイベントのようですが、かえで保育園ではこれまでのお子様の成長をみんなで喜び合える機会として、行事を設けています。生まれてからこれまで一緒に過ごしてきた日々を想いながら、保護者の方々にとっても心温まる時間になってくれればと考えています。

5 月下旬のある日のこと、室内の大きな階段の踊り場で、ひかり組の K ちゃんが手すりにつかまっていました。なかなか階段を登ろうとせずに手すりを握りしめている K ちゃん、園庭から帰ってきて休憩中かな？と思いながら見てみると、「んーっ！」両手で握りしめた手すりを力いっぱい下に引っ張っていました。“もしかして…”と後ろを振り返ると、S くんが手すりの反対側を握りしめ、引っ張り上げています。どうやら長い手すりを縄に見立てて、運動はっぴょう会ごっこで楽しんだ綱引きをしていたのです。

子どもたちのあそびは模倣から広がるといいますが、まさに自分たちが経験したことが、あそびとして繋がっているようでした。日常の経験があそびに活かされていることも多く、友だちのまねっこや、お兄さんお姉さんに憧れてあそびを真似てみたり、おうちでの家族のやりとりがままごとコーナーで繰り広げられることもあります。“あそびは学び”を子どもたちの姿から感じつつ、豊かな発想に感心する毎日です。沢山の経験を通して模倣する楽しさを味わい、あそびの世界を広げてほしいと思います。

主幹保育教諭 K

## めばえ

きもちいいな



初めての保育園から2ヵ月が経ち、毎日の生活を通して少しずつですが保育者との関係性もできてきたようです。保育者と目が合うと笑顔を見せてくれるようになりました。保育園生活の中で、砂や泥、水や植物など様々なものに触れ、気になる、楽しい、嬉しいなど色々な表情が見られるようになってきました。ハイハイで追いかけてっこをしたり、お友だちと目を合わせてニコッと笑い合うなど、自分以外のお友だちの存在にも少しずつ興味が高まってきているようです。子どもたちの遊びの中での発見を保育者が広げていけるように環境づくりや関わりを大切にしていきたいです。

風が気持ちいいね



トンネルだね



みてみて！

サラサラだね



## ふたば

暑い日が増えてきましたが、園での生活にも慣れふたば組は笑顔いっぱい過ごしています。自分で服から頭や手を出したりズボンをおろそうとしたり、手を洗おうと自ら水道に向かったり自分で口や手を拭こうとしてみたりとできる事が少しずつ増え、自分でやってみようとする「やりたい気持ち」に答えられるよう見守りながら援助していきたいです。また、お友だちとの関わりも増えてきました。同じ遊びに興味をもち一緒に楽しんでいます。お友だちを膝の上に乗せて触れ合ったり、手を繋いで散歩に出かけたりと好きな遊びや探索活動を楽しんでいます。遊びのなかで簡単な言葉や仕草で自分の気持ちを伝えようとする子どもたち。どんどんと広がっていく子どもたちの関わりが今後も楽しみです。子どもたちの色々な気づきを保護者の方と共有できればと思っています。夏に向けてこまめな水分補給や体温調節に気をつけ、元気いっぱい身体を動かして楽しんで過ごしていきます。

みてみて！



あっ！あれは？



おててぎゅっ！



いただきます！





## つぼみ

ダンゴムシ集めをしていると、ここにダンゴムシが沢山いることに気づきました。

木々の葉が青々と茂り、夏の予感を感じる季節になりました。園庭遊びでは、ダンゴムシを探すことに夢中な子どもたちです。手のひらにのせて「みて！こしょばい」と嬉しそうにしたり、ダンゴムシの動きをじーっと見つめたりしています。「ダンゴムシどこにいるかな？」と探している友だちがいて、「ここにいつもいるんだよ」と得意気に伝えてくれます。

ダンゴムシの絵本にも興味津々で、「ダンゴムシの赤ちゃんは白いんだよ」と絵本で発見したことを嬉しそうに教えてくれます。

これからも、子どもたちの「みてみて！」「きいて！」の声に寄り添い、たくさんの気づき・発見をして興味を深めていきたいと考えています。

みんなで沢山ダンゴムシを集めて観察をしています。



沢山ダンゴムシを見つけて、色々な色のダンゴムシがいることに気づきました。



ダンゴムシが丸まった！



色々な虫がいるかな？



『しぜん』や『ダンゴムシ』の絵本を読んで、ダンゴムシの赤ちゃんは白色だと発見しました。

## いぶき

風が心地いい季節から少しじめじめとした梅雨の季節がやってきました。先月は運動はっぴょう会があり、子どもたちもうんどうあそびを楽しめた様子でした。毎日やってみたいことで溢れている子どもたちは、いろんな遊びからたくさんの発見をしています。泥団子作りでは、子ども同士でこっちにいい砂があるよと情報を共有したり、こうやって丸めるんだよと作り方を伝えあっています。さら砂を作るときはザルを使う、完成した泥団子は続きができるようにこのカップに入れるなど異年齢で遊ぶ中で知った知恵を活かして遊びを楽しんでいます。これからもたくさんの刺激を受けながらお友達や先生と遊ぶ楽しさを感じ、安心した環境で自分の興味を深めていってほしいです。

パプリカどんどん  
おおきくなっているね



ひらがなキューブ  
なんの文字作ろうかな



カルタであそんだよ

ポンポン作ったよ



シャボン玉  
とんだね



アゲハの幼虫  
みつけたよ



泥団子作りに夢中



## ひかり



はなしでしたらどうしよう

昼食前のひかりタイムでは物語「ロボットカミイ」を子どもたちと読み始めました。たけしくんとうようちゃんがダンボールで作ったロボット・カミイが突然話始めるところから、物語が始まります。子どもたちもワクワクした様子で読んでおり、ようちゃんの“ちびそう”を使いたくて、カミイが泣いている場面では、「ぼくなら、かしてあげるよ」「え、いやだな。だってつかってたもん」と子どもたちも登場人物の立場になって考え、もし、自分だったらどうしよう…と毎日物語を読み終えた後には話し合いが始まります。そんなある日、Aちゃんが「わたしたちもカミイをつくってみたい」とひらめき、一緒にかえて保育園の“カミイ”を作ってみることにしました。「かみいは、だんぼーるがいるでしょ」「あとはみずいろのびーだまもいるよ」と物語に沿って、素敵なカミイが作れるように準備をしています。「ほんとに、しゃべってきたらどうする?」「ちょっとこわいかも」と少しドキドキしながらも、物語の世界を楽しんでいます。

あしにする?



カミイをつくろう

## だいち

5月初めに、だいち組で行きたいお出かけ先にあがっていた『甲山森林公園』に行きました。緑豊かな自然の中で心地よい風を感じながら春の自然を感じました。公園内を3グループに分かれて『5つの宝物』（つるつる石、つるつるの枝、緑の葉っぱ、きれいな葉っぱ、好きな自然）をそれぞれ1つずつ子どもたちで話し合いながら探しました。お互いが見て、触って感じる“宝物”が違うことに新たな気づきと不思議を感じていました。みんなちがってみんないいを体感する機会にもなりました。運動はっぴょう会に向けて、子どもたちとお家の人に今挑戦していることやみてほしいことをだいち会議の中で話し合ってきました。頑張りたいのに思うようにいかなかったことに葛藤しながらも、毎日いろんな思いや心境の変化を感じながら過ごしました。お互いの気持ちがぶつかることもありました。今年は2人組や3人組と少人数で集まりお店屋さんごっこで必要なものを集めて作ったり、協力しあえる機会も増やしながら進めました。当日が近づくにつれてかえて保育園でみてもらう最後の運動はっぴょう会を子どもたちも意識しながら取り組んでいました。今回の運動はっぴょう会から子どもたちが新たにはじめようとする事の自信の一步に繋がってほしいです。

運動はっぴょう会に出てきた  
かえて屋の特大サイズの商品づくり



甲山で見つけた笹の新芽を  
たくさん集めて“笹茶”づくり



はま、かぜ、にじグループに分かれて  
「5つの宝物」を子どもたちで  
話し合い1つずつ集めました。



天気に恵まれ運動はっぴょう会を終えることができたことをうれしく思っています。

さて、今年も各クラスでおいしく実るようお願いを込めて夏野菜を中心に育てています。

育てる喜び、作る楽しさを味わうために子どもたちと毎日お世話もしています。

今月はかえで保育園の食材のこだわりを紹介させていただきます。

\*牛乳は低温殺菌牛乳、甘みやコクがあり、消化吸收もよくさらっとしていて美味しいです。

\*出汁はかつおぶしと昆布、粉末の出汁は使いません。うどんやそうめんなどの出汁も手作りで。

ラーメンの出汁は、かつお昆布出汁に野菜や鶏肉の出汁を入れて作ります。

かつおぶしと昆布の出し殻で手作りふりかけ（佃煮）を作ることもあります。

\*野菜・果物・肉・魚、基本国産（バナナや魚の一部は除く）

\*「遺伝子組み換え」商品は選びません。

\*缶詰類やゼリーなどに使用する果汁、調味料には人工甘味料を使用していない物を使っています。

\*おやつケーキ類には小麦粉→米粉を取り入れるようになりました。小麦粉より米粉は消化をよくします。子どもたちが口にするものはできるだけ、安心・安全で添加物やアミノ酸を使用していないものを提供したいと思っています。全てを排除することは難しいですが、温かい・冷たいものを適温で美味しく食べること、あたたかな雰囲気・環境の中で食べることをこれからも大切に取り組んでいきたいと思っています。

主幹保育教諭 F

## お台所より

### ～5月の食育活動～

スナップエンドウやそら豆、えんどう豆などの豆類が美味しく食べられる季節ですね。5月16日にいぶきさんとだいちさんのペアになって、お昼ごはんを使うえんどう豆の豆出しをしました。皮が硬くてなかなか剥けない様子のいぶきさん。その様子を横で見ていただいちさんが手伝ってあげる姿も見られました。丁寧に取り出してくれた豆はお昼ごはんにほっくりとした「豆ごはん」として食べました。豆が苦手な子も少しだけでも食べようとしてくれていて嬉しい気持ちになりました。



### ～おうちでクッキング～

今回は豆腐ハンバーグを紹介します。

園の豆腐ハンバーグは玉ねぎではなく細かく刻んだえのきを入れています。

細かく刻んでいるのでえのきが苦手な

子でも気づかずにパクパク食べてくれます。玉ねぎを炒める手間もなく時短で美味しいハンバーグができます。

是非お家でも作ってみてください。

#### ○材料（大人2人・子ども2人分）

- ・鶏ミンチ 200g（たれ）
- ・木綿豆腐 100g
- ・醤油 50cc
- ・えのき 1/2株分
- ・みりん 50cc
- ・ひじき（乾燥） 5g
- ・砂糖 30g
- ・しょうが
- ・水溶き片栗粉
- ・塩胡椒 少々



#### ○作り方

- 1、豆腐はレンジにかけ水切りする。
- 2、ひじきは水で戻し、炒め醤油で下味をつける。
- 3、えのきは細かく刻む。
- 4、鶏ひき肉と①②③を混ぜ合わせ焼く。
- 5、たれの材料を合わせてとろみをつけ④にかける。

## 行事予定

10日(火) 害虫駆除メンテナンス  
17日(火) 誕生会・子育て支援) 親子ヨガ  
20日(金) 月例健診  
21日(土) 同園会 ※家庭保育にご協力お願いします  
ダンディタイム作業 15:00~17:00  
24日(火) 子育て支援) アート  
23日(月) 職員園内研修  
26日(木) かえでカフェ  
28日(土) 土曜保育 お弁当日  
30日(月) 保健師による巡回指導  
絵画 11日(水)・23日(月)  
体操 5・12・19・26日(木)

## 保護者メッセージ

家では3歳上の姉と保育園ごっこをするのが大好きな娘。姉もかえで保育園に通っていたのですが、2人で先生役と園児役になってとても優しい口調でやりとりしています。その姿を見て先生方が日頃から丁寧に子どもと向き合っていることを改めて実感しました。いつもありがとうございます。

いぶき組 ゆうこさん

あまり果物が好きではない娘。「今日のおやつは果物だった」と。「食べた?」と聞くと、「食べれた! 牛乳にチョンチョンって付けていちご牛乳にしてん! 前のだいちさんに教えてもらった! けど先生には内緒やで(にやり)と言う姿に、こんな姿も代々受け継がれていくんだなあと思わず笑ってしまいました。

ひかり組 あゆみさん

ひかりさんになってから、めばえさんの赤ちゃんのお世話に夢中な娘。「〇〇ちゃん、葉っぱが好きやからたくさん集めてあげてん!」「かえるのこと、みー! と言えるようになってん!」と嬉しそうに教えてください。つい最近までお世話される方だったのに、すっかりお姉さん。嬉しい成長です。

ひかり組 みはるさん

## 健診のお知らせ

耳鼻科 6月10日(火) 12:30~  
歯科 16日(月) 10:00~  
眼科 24日(火) 14:30~  
尿検査(幼児のみ) 12・13日(木・金)

## 懇談会のお知らせ

(詳細は手紙でご確認ください)

18日(水) ふたば組

27日(金) つぼみ組

## 7月の予定

5日(土) かえでの楽しいイベント

\*お手紙配布します。家庭保育をお願いします。

〇〇くんはこんなことしてたよ! 〇〇ちゃんはこんなことできるんだよ! と大好きなお友だちの素敵なところを見つけてとっても嬉しそうにお話してくれます。相手のいいところを見つけて言葉にできる息子がとても誇らしいなと感じます。それが出来るのは息子自身も園でたくさんの素敵な言葉に包んでもらっているからだと思います。 つぼみ組 ちえこさん

この春、息子はいぶきさんになりました。まだまだ赤ん坊のようなものだと思っていたら、お友だちと先生との生活との中で周囲を気遣う声を掛けたり、自分の気持ちを譲らなかったりと、ほんの少し優しく、そして遅くなって、ひとりの人間として成長しつつあることを実感しています。

いぶき組 あきらさん

ひかり組になり2か月が経ちましたが、ひかり組になったことが誇らしいようで、「ひかりさんだから出来るよ!」が口癖です。そしてさらに「あと何日でだいちさんになれる?」と早くだいちさんになりたい娘です。気の早さが微笑ましく、どんなひかり・だいちさんになっていくのか楽しみです。

ひかり組 かおりさん

運動発表会が近づき、練習や更にお昼寝もしたりしなかったりの日々で、今まで見られなかった「寝落ち」をするようになりました。日焼けして気持ちよさそうに寝ている娘を布団まで運び、大きくなったなあ…と成長を実感しながら、いつまで抱っこしてあげられるんだろうと思います

だいち組 あきさん